

ICDコーディング実務課程カリキュラム・ガイドライン

特定非営利活動法人日本医療福祉実務教育協会のカリキュラム委員会は、会員校の共通理解と資格称号の維持向上を図るために、カリキュラム・ガイドラインを示す。

表記教科名	項目	目的	内容
臨床医学概論			1) 内科疾患 2) 小児科疾患 3) 外科疾患 4) 整形外科疾患 5) 形成外科疾患 6) 眼科疾患 7) 耳鼻咽喉科疾患 8) 産婦人科疾患 9) 皮膚科疾患 10) 泌尿器科疾患 11) 精神科疾患
診療情報管理論	(1) 診療内容の分類、コード化の方法 (2) 病歴室の業務	ICDコードの理解、病歴管理室の業務の理解	1) 診療内容の分類とコード化の仕方 2) 統計資料の作成 3) 病歴管理室の業務 4) ICDコーディングの利用
ICDコーディング実務演習	(1) 病名コーディングの仕方 (2) 疾病、傷害および死因統計分類	病名コーディングの具体的付け方の理解、各種統計分類の理解	1) 感染症および寄生虫症 2) 新生物 3) 血液および造血器の疾患、免疫機構の障害 4) 内分泌、栄養および代謝疾患 5) 精神および行動の障害 6) 神経系の疾患 7) 眼および付属器の疾患 8) 耳および乳突突起の疾患 9) 循環器系の疾患 10) 呼吸器系の疾患 11) 消化器系の疾患 12) 皮膚および皮下組織の疾患 13) 筋骨格系および結合組織の疾患 14) 尿路性器系の疾患 15) 妊娠、分娩および産褥 16) 周産期に発生した病態 17) 先天奇形、変形および染色体異常 18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響 20) 傷害および死亡の外因 21) 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 22) 疾病、傷害および死亡統計分類提要